

(別紙)

安全協定第9条で規定するLCO逸脱事象

2号機

「D-主蒸気管モニタ」(低)警報発生

第15回定期検査のため、9月7日5時51分に原子炉を停止し原子炉冷却操作中(高温停止状態¹)のところ、9月7日17時45分頃から「D-主蒸気管モニタ」(低)²の警報が頻繁に発生したため、17時58分に原子炉施設保安規定に定める運転上の制限を満足しない状態であると判断。

その後、19時07分に原子炉が低温停止状態³となり、その結果、原子炉施設保安規定に定める運転上の制限を満足する状態に復帰。

原因は、現在、調査中。この事象による外部への放射能による影響はない。(中国電力株公表済み)

1 高温停止状態

原子炉水温度が100 以上の状態

2 「D-主蒸気管モニタ」(低)

主蒸気管の放射線量が低くなった場合に発生する警報で、測定系の異常を検知する。

3 低温停止状態

原子炉水温度が100 未満の状態